

第3期 9回目授業

～1時限 一般社団法人カルチベイト代表 井上先生～

人をつなぐ、文化をつなげる、まちづくり

文化がその地域から無くなると、その地域は無くなる。文化活動は楽しい



◇宮崎アートセンターの事業

市民プロデューサーの育成、文化の種まき、地域アーティストへの場の提供、自分が楽しめる自信がある。

年1回の2千人規模のコンサート実施、商店街とコラボ、本物を提供、楽しむだけから参加・参画へ。

ポスターはストーリー・感動を伝える道具、チケットは販売促進ツール・鎮守の祭りの再現ツール

◇西都原考古博物館の運営の仕組み

NPO 法人が博物館を運営しているが、西都原ボランティア協議会を作つて一緒に運営。主な仕事は、コーディネート、満足度の釀成、場所の構築。→博物館でマルシェや年間を通じてイベント開催。毎月1回ボランティア研修(展示解説や接遇マナー)、海外の博物館へも研修旅行。ボランティアガイドは国と国の架け橋。

◇銀鏡(しろみ) 地区活性化(銀鏡修験文化(滝行復活プロジェクト) まちづくりプロジェクト

銀鏡の現状:全人口180名、もう消滅集落、無形民俗文化財「銀鏡神楽」は全国的に有名、山村留学が命綱。

→神楽は観光神楽にしてはいけない、12/14以外は舞わない。日常に落とし込める財産はないか?

自分の土地を自分が好きじゃないと人に勧められない。→地元民は地元を語れない!?そこにある!あたりまえ!になっている。→地域再発見のお手伝い。職種・世代・立場の違う人と意見の紹介と交流をすることで発見。→修験文化の復活(滝行)を提案。郷土料理の提供。海外へもPR。

◇「聞く」ことは「聴く」ことでありそれはまた「利く」「効く」という魔法の力。

熱中小学校で学んだことを広げていくのは、自分自身。

～2時限 2町目3番地美容室経営 山側先生～ 苦難を乗り越えて、すべてに感謝



19歳の時に美容室「2丁目3番地美容室」を開く。

母親からの教えで夢は話していると叶う。その想いがずっとあり、やりたいと思ったことを形にしてきた。美容室、子供が喜ぶようにバスを改装した美容院、写真スタジオなど。



◇そんな時に膠原病に。(まだ自分の子供が1歳と4歳の時)

自分の体が分からず不安。しかし、病気のおかげで時間が出来て、絵を習い始める。それまでは美容院の事ばかりだったが、病気のおかげで絵に出会えた。→人に何か楽しんでもらいたいという想いが強くなる。

◇2016年乳癌に。

10年先の目標より、2年・3年先の目標を見つける。毎日が忙しいと病気の事を忘れる。遊びが大好き、自分の見えなかった才能が病気のおかげで分かった。

乳癌発覚後に、四国88ヶ所の遍路も回った。抗がん剤治療で髪が抜けてしまうので、自分の髪の毛を切つて前髪だけのウイッグを作った。

仲間と一緒に手芸クラブを作る、自分が教えるのではなく、自分が出来るコトを伝える。

→そんな時にファッションショーをしませんか?と声をかけてもらう。ちびっこ花嫁さんが誕生。全て手作り。認めてもらう事が嬉しい、やりたいと思う事はとりあえずやってみる、経験しないと失敗がないので、とにかく行動を。元気で動ける今、人の役に立つこと・喜んでもらえることをしたい。

→すべてに感謝。



授業の最初にはちびっこ花嫁さんも登場してくれました